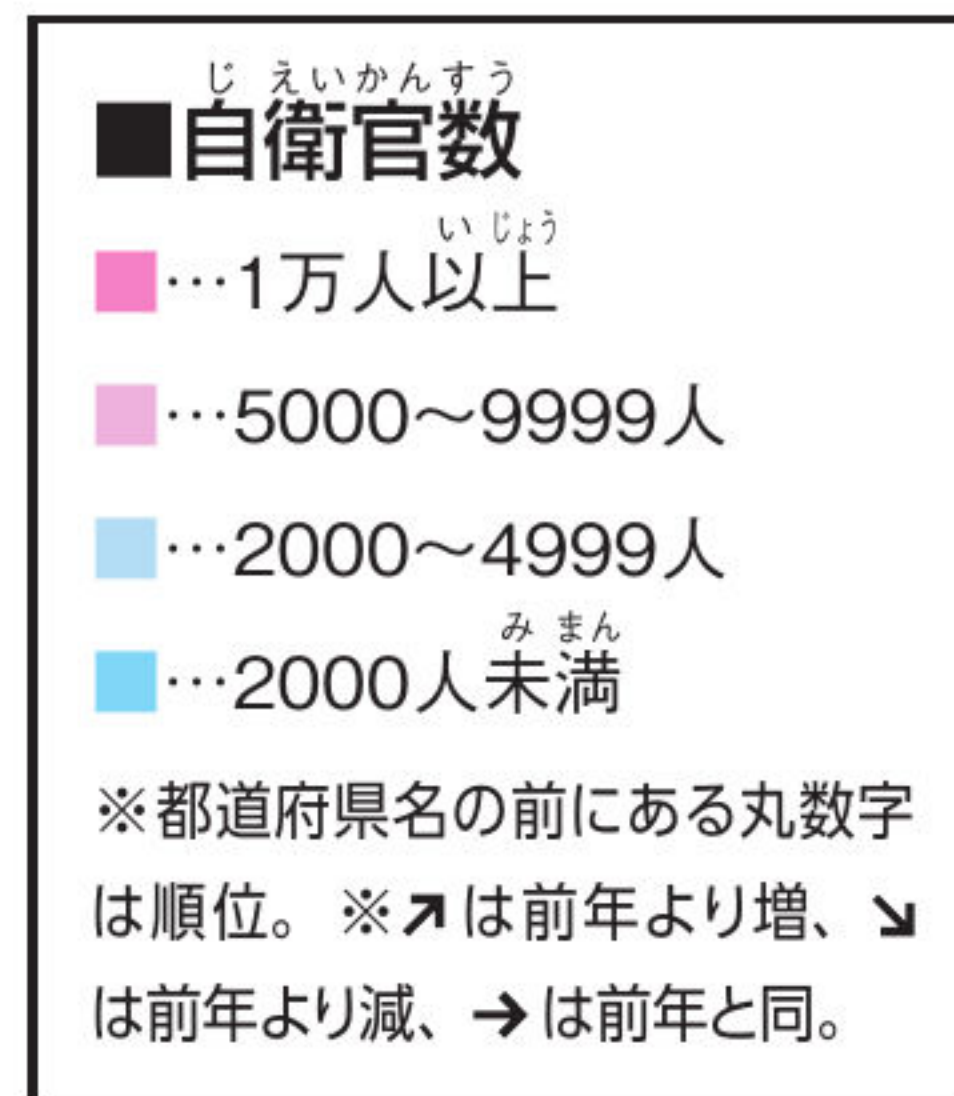




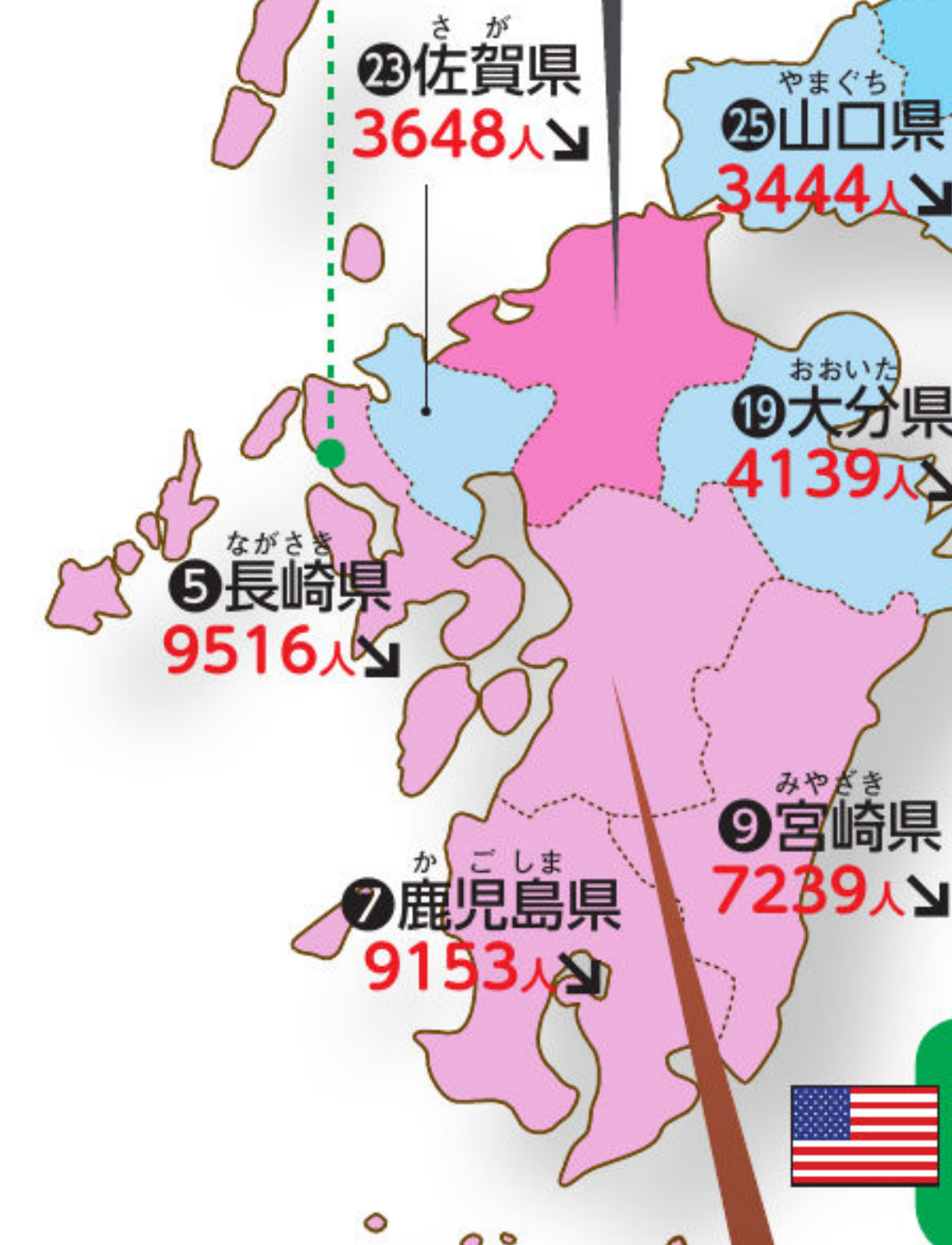
自衛官の出身地

(2019年)
朝雲新聞社「防衛ハンドブック2020」
※2019年10月31日現在の自衛官の本籍地を出身地とした。緑色の部分は、おもなアメリカ軍の施設。



2位 福岡県
1万1977人↘

佐世保海軍施設
(長崎県)



3位 熊本県
9899人↘

岩国飛行場
(山口県)

嘉手納飛行場
(沖縄県)

普天間飛行場
(沖縄県)

厚木海軍飛行場
(神奈川県)

横田飛行場
(東京都)

横須賀海軍施設
(神奈川県)

1位 北海道
3万795人↘

三沢飛行場
(青森県)